

事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 薬科学専攻（博士前期課程）

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務・企画部総務課

職名・氏名 専門職員・本^{ホン}城^{シヨウ}直^{ナオ}樹^キ

電話番号 086-251-7015

（夜間） 086-251-7015

F A X 086-251-7294

e-mail honjou-n@adm.okayama-u.ac.jp

目

次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	7
4	教員組織の状況	9
5	その他全般事項	10

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

(2) 大学名

岡山大学

(3) 大学の位置

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医歯薬学総合研究科 薬科学専攻(博士前期課程) 修士(薬科学)	2年	40人	80人	基礎となる学部名等 薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	()人	(-)人 40	1.00 倍	
志願者数	()	()	(-) 49		
受験者数	()	()	() 48		
合格者数	()	()	(-) 42		
B 入学者数	()	()	(-) 40		
入学定員超過率 B/A	()	()	(-) 1.00		

- (注) ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度			備 考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[]	[-] 40	
2年次	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[]	[]	[-] 40	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [-]	計 [-]	[- %]
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	0 %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 40人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

〈医歯薬学総合研究科 薬科学専攻（博士前期課程）〉

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	薬科学特別研究	1通	10			17 15	24 21	1	1			H21. 12. 16助教が准教授に昇任し、研究指導も担当させることを承認(H21. 1教授会) (22) H22. 4. 1准教授が教授に昇任、講師が准教授に昇任(22) (H22. 1. 19保健管理センター運営委員会) H22. 4. 1教授1名採用し、研究指導も担当させることを承認(H22. 2教授会) (22) H22. 4. 1准教授1名採用し、研究指導も担当させることを承認(H22. 2教授会) (22) H22. 4. 1准教授1名を新たに研究指導を担当させることを承認(H22. 2教授会) (22)
	薬科学セミナー	1通	8			17 15	24 21	1	1			H21. 12. 16助教が准教授に昇任し、研究指導も担当させることを承認(H21. 1教授会) (22) H22. 4. 1准教授が教授に昇任、講師が准教授に昇任(22) (H22. 1. 19保健管理センター運営委員会) H22. 4. 1教授1名採用し、研究指導も担当させることを承認(H22. 2教授会) (22) H22. 4. 1准教授1名採用し、研究指導も担当させることを承認(H22. 2教授会) (22) H22. 4. 1准教授1名を新たに研究指導を担当させることを承認(H22. 2教授会) (22)
専門基礎科目	薬科学概論	1通	2			17 15	21 22					H22. 4. 1准教授1名が教授に昇任、教授1名採用(H22. 2教授会) (22)
専門科目	薬品合成解析学領域科目	現代創薬化学	1・2前 未開講 1-2後	1		1						
		生命有機化学	1-2後	1			1					履修登録者なしのため未開講(22)
		薬用天然資源化学	1-2後	1		1						履修登録者なしのため未開講(22)
		植物二次代謝学	1-2後	1		1			1			履修登録者なしのため未開講(22)
		天然物化学	1-2後	1		1		1				履修登録者なしのため未開講(22)
		生物物理化学特論	1・2前	2		1	1					
		有機合成戦略学	1・2前	2		1			1			
		生体機能分析化学	1・2前	2		1				1		H21. 9. 30助教退職により教授1名となったが、教育上支障はない(22)
		機器分析応用学	1・2前	1			1					
		構造情報分析学	1・2前	1			1					
		大学院有機化学演習Ⅰ	1・2前	1		1				1		
		大学院有機化学演習Ⅱ	1-2後 未開講 1-2後	1		1						履修登録者なしのため未開講(22)
生命反応解析学領域科目	トランスポーター生化学	1・2後	1		1							
	膜タンパク質化学	1・2後	1			1						
	免疫生物学	1・2前	2		1	1						
	薬物代謝化学	1・2前	2		1	1						
	ゲノムプロテオーム解析学	1・2前	1			1						
	薬学バイオインフォマティクス	1・2後	1			2 1	2 1	1 1	1 1		H22. 4. 1准教授が教授に昇任(22) H22. 4. 1講師が准教授に昇任(H22. 1保健管理センター運営委員会) (22) H22. 4. 1助教1名が退職(22) H22. 4. 1准教授1名を採用(H21. 11保健管理センター運営委員会) (22)	
薬効解析応用学領域科目	臨床病態診断学	1・2前	1									
	薬物治療学	1・2後 未開講 1-2後	1		1						履修登録者なしのため未開講(22)	
	病態薬効解析学	1-2後	1			1						
	機能性製剤開発評価学	1・2前	1		1							
	医薬品臨床開発学	1・2前	1			1						
	医療薬理学	1・2前	1			1						
	薬物送達解析学	1・2前	2		1				1			
	神経精神薬理学	1・2前	1			1			1			
医薬品開発臨床情報学	1・2前	1				2						
臨床薬剤学	1・2後	1			1							

環境因子応用解析学領域	蛋白質機能生物学	1・2前	2	1	1		
	医薬品開発学	1・2後	1		1		
	変異発がん機構学	1・2前	2		2		
	細菌機能解析学	1・2後	2		1	1	
	環境生物薬科学	1・2前	2	1	1		
	創薬臨床倫理学	1・2前	1		1		
教養科目	プレゼンテーション・コミュニケーション演習	1前	1	2	6 5	1 2	H21. 12. 16助教から准教授に昇任 (H21. 1教授会) (22)
	大学院医薬品開発演習	1後	1	1	3		
	創薬知的財産学	1前	1		2		
	動物細胞培養・動物実験実習	1前	1	1	1		
医歯科学専攻の相互履修科目	医歯科学概論	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	生命倫理学	未開講 +前	1				履修登録者なしのため未開講 (22)
	人体構造学	1前	2				
	口腔構造機能学	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	人体生理学	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	生化学	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	病理病態学	未開講 +後	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	総合薬理学	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	生体材料学	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
	社会医歯科学	未開講 +前	2				履修登録者なしのため未開講 (22)
臨床医歯科学概論	未開講 +後	2				履修登録者なしのため未開講 (22)	

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	変更なし
3	49	0	52	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{52} = 0$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 定 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部					学士(文学)	1.06		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700	学士(学術)	1.06	平成16年度		
歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度より学生募集停止
言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度より学生募集停止
教育学部					学士(教育学)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1000	学士(学術)	1.05	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.01	昭和53年度		
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度		平成18年度より学生募集停止
法学部					学士(法学)	1.05		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.04	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.12	平成16年度		
法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
経済学部					学士(経済学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.11	平成16年度		
経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
理学部					学士(理学)	1.11		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.20	昭和24年度		
物理学科	4	35	—	140		1.12	昭和24年度		
化学科	4	30	—	120		1.12	昭和24年度		
生物学科	4	30	—	120		1.09	昭和24年度		
地球科学科	4	25	—	100		1.11	平成7年度		
			3年次20	40		1.02			
医学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	—	597	学士(医学)	1.00	昭和24年度		平成21年度から定員増 95→105 平成22年度から定員増 105→112
			3年次5	20	学士(保健学)	1.20			平成13年度から編入学の学生募集
			2年次5	5	学士(看護学)	1.00			平成22年度から編入学の学生募集
保健学科	4				学士(学術)				学生募集は平成11年度から
看護学専攻		80	—	320		1.03	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)
			3年次10	20		1.00			
放射線技術科学専攻		40	—	160		1.06	平成10年度		
			3年次5	10		0.90			
検査技術科学専攻		40	—	160		1.04	平成10年度		
			3年次5	10		0.70			

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
歯学部 歯学科	6	55	— 3年次5	330 20	学士(歯学)	1.01 1.00	昭和55年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
薬学部 薬学科 創薬科学科 総合薬学科	6 4 —	40 40 —	— — —	200 160 —	学士(薬学) 学士(創薬科学) 学士(学術)	1.06 1.06 1.04 —	平成18年度 平成18年度 平成11年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	平成18年度より学生募集停止
工学部 機械工学科 物質応用化学科 電気電子工学科 情報工学科 生物機能工学科 システム工学科 通信ネットワーク工学科	4 4 4 4 4 4 4	80 60 60 60 80 80 40	— — — — — — — 3年次30	320 240 240 240 320 320 160 60	学士(工学) 学士(学術)	1.08 1.08 1.07 1.14 1.02 1.04 1.09 1.12 1.05	昭和62年度 平成12年度 昭和62年度 昭和62年度 平成8年度 平成8年度 平成12年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境理工学部 環境数理学科 環境デザイン工学科 環境管理工学科 環境物質工学科	4 4 4 4 4	20 50 40 40	— — — — —	80 200 160 160	学士(環境理工学) 学士(学術)	1.10 1.15 1.15 1.06 1.06	平成6年度 平成6年度 平成6年度 平成6年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	学生募集は平成7年度から
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学) 学士(学術)	1.10	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<医歯薬学総合研究科 薬科学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
36	12	48	0	41	8	49	0	
(41)	(8)	(49)	(0)	[5]	[Δ4]	[1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<医歯薬学総合研究科 薬科学専攻（博士前期課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表予定時期 (平成22年 5月31日予定)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/johokoukai_j.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。